

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年03月24日

計画の名称	地域における住環境の改善及び浸水対策の推進（第3期）														
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	町田市														
計画の目標	下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,083	A	1,083	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R2末	R3末
1	未普及を解消するため、H29年度～R3年度で、水洗化率を97.5%から97.9%にあげる。 水洗化率 公共下水道もしくは合併浄化槽による汚水処理人口 / 市内全人口	98%	98%	98%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	町田市	直接	町田市	管渠（ 污水）	新設	未普及解消事業	污水管整備	町田市	■	■				1,083		-	
		R2年度から重点条件変更をうけ、本計画の基幹事業を移行。事後評価はR4年度に同時に受ける。																		
												小計						1,083		
											合計						1,083			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
町田市の下水道事業は町田市下水道事業計画に基づき実施している。そのため、市の下水道事業や経営計画について評価、審議するにあたり、事後評価を町田市下水道事業計画評価委員会にて実施する。	令和５年２月
	公表の方法
	市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【未普及解消事業/管渠】：真光寺町をはじめとする市街化調整区域において污水管整備を実施した。水質の向上に向けた汚水処理の推進を図り、水洗化率が９７．５％から９９．４％へ向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

社会資本総合整備計画を策定するにあたり、「下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。」を目標に掲げ、「地域における住環境の改善及び浸水対策の推進（第３期）」を策定した。
また、２０１７年に策定した「町田市公共用水域水質改善１０ヶ年計画」に基づき、対象地域における公共下水道への接続意向調査を実施し、住民の多くが接続に前向きな地域について、２０１７年～２０２１年度の前期５ヶ年で優先して污水管整備を行った。
今後は２０２０年に再度実施した接続意向調査の結果をもとに、２０２２年～２０２６年の後期５ヶ年で整備を進め、さらなる水質の向上と住環境の改善に努める。
なお、社会資本総合整備計画期間における評価対象期間は、２０１８年～２０２１年の４年間が対象となる。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	水洗化率		
	最 終 目 標 値	98%	市内の下水道未普及地域に対し、污水管整備を行った。また、公共下水道への切替え啓発、合併処理浄化槽への切替えを実施し、民間事業者による宅地開発に伴う公共下水道の整備により、汚水処理人口が総人口430,803人に対し、428,169人となり、水洗化率が、99.4%へ向上した。
	最 終 実 績 値	99%	